

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年6月～2024年5月】

株式会社 野口製作所

《ご挨拶》

私たち野口製作所は昭和42年の設立以来、金属プレス加工を通じてお客様の課題を解決する提案型企業として成長して参りました。現在は電子機器部品、医療用部品、車載部品と幅広い市場ニーズにお応えする製品を製作しております。

私たちは、環境保護と持続可能な開発の重要性を強く認識し、日々の業務においてエコアクション21の指針を遵守しています。SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、環境負荷の低減、省エネルギー、生物多様性の保全に積極的に取り組んでいます。

お客様の課題に共に悩み、解決のための最適解を提案するきめ細かいサービスを大切にし、お客様の伴走者として共に成長していくことを最大の喜びと考えています。そのためにも、社員一人ひとりが環境意識を高め、持続可能な社会の実現に向けて積極的に貢献できる人財の育成に努めております。環境を意識した教育を通じて、社員全員が正しい判断でお客様へ寄り添えるよう日々努力を重ねています。これからも私たちは人と環境を大切にし、持続可能なものづくり企業として、この富岡市から世界中のお客様に向けて期待を超える価値を提供していきます。

株式会社野口製作所

代表取締役社長

野口 大輔

《目次》

- | | |
|--|-------|
| 1. 組織の概要 | P-1 |
| 2. 対象範囲 | P-1 |
| 3. 環境経営方針 | P-2 |
| 4. エコアクション21 推進組織図 | P-3 |
| 5. 環境経営目標・計画 | P-4 |
| 6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容 | P-5 |
| 7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画 | P-6・7 |
| 8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無 | P-8 |
| 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示 | P-8 |

1. 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

株式会社 野口製作所
代表取締役社長 野口 大輔

2. 所在地

〒370-2462 群馬県富岡市下丹生1494-3

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 野口 大輔
環境管理責任者 : 田村 竜治
担当 : E A 2 1 事務局 イソイソ委員会
TEL : 0274-63-7131
FAX : 0274-67-5511

4. 事業の内容

金属プレス加工

5. 事業規模

活動規模	単位	2022年	2023年
売上高	百万円	249	234
従業員数	人	25	22
延べ床面積	m ²	1,526	1,526

2. 対象範囲

1. 対象範囲（認証・登録範囲）

株式会社野口製作所 全組織及び全活動

3. 環境経営方針

〔基本理念〕

日々の経済活動が持続可能な社会の実現につながるよう、企業も個人も自らの役割を認識し、次世代のために責任ある「1歩 よりも100歩進む対策」を取っていきます。

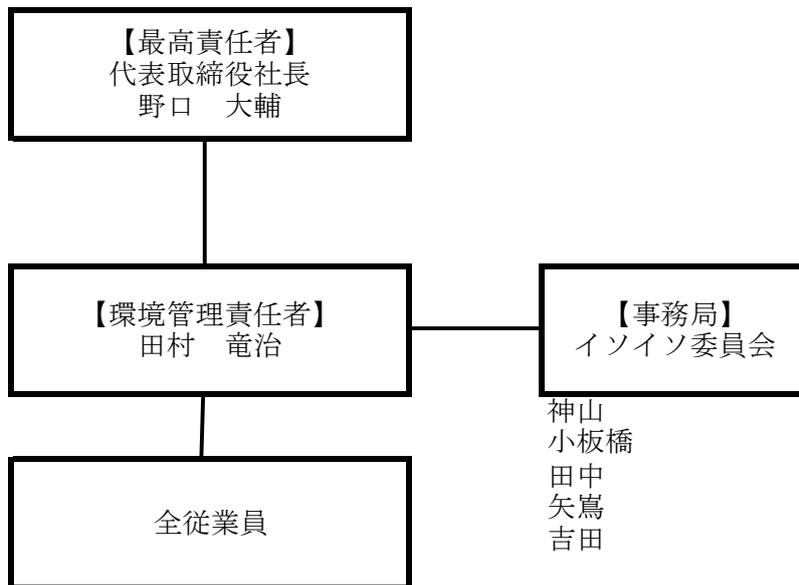
〔基本方針〕

- ・ 私たちは事業活動に伴う環境負荷を低減するために、次の活動を積極的に推進すると共に、技術革新を図って行きます。
 - 1) 化石燃料製品の使用削減
 - 2) 再生可能エネルギーの積極的使用
 - 3) 事業廃棄物削減
 - 4) 電子化、デジタル化の推進
- ・ 環境関連法規制その他を遵守し、サステイナブルな社会を実現します。

2022年 6月 1日

株式会社 野口製作所
代表取締役
野口 大輔

4. エコアクション21 推進組織図



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 野口 大輔】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。</p> <p>③環境方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【田村 竜治】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するためにイソイソ委員会の中の部会として運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【イソイソ委員会】</p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
イソイソ委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

5. 環境経営目標・環境経営計画

環境経営目標					環境経営計画
項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	実施事項
1 売り上げ100万円当り 二酸化炭素排出量の削減	2022年 (518.3 kg- CO2/10 0万円)	2022年 度に対 して1% 減	2023年 度に対 して1% 減	2024年 度に対 して1% 減	①空調温度適正化・表示 ②不良数の集計と削減 ③エアコン清掃の実施 ④設備の点検・整備 ⑤社用車の点検・整備 ⑥電力、ガソリン量の集計 ⑦デマンド設定 ⑧目標達成状況・活動進捗状況確認
2 売り上げ100万円当り 廃棄物排出量の削減	2022年 (70.42 kg/100 万円)	2022年 度に対 して1% 減	2023年 度に対 して1% 減	2024年 度に対 して1% 減	①廃棄・分別ルール of 徹底 ②有価物の細分化の徹底 ③廃棄物排出量の集計 ④産廃業者の許可証の確認 ⑤産廃排出量の届出 ⑥プレス加工品のビニール袋使用廃止 ⑦木パレットの返却 再利用 ⑧目標達成状況・活動進捗状況確認
3 従業員1人当りの水 使用量の削減	2022年 (11.8m ³ /1人)	2022年 度に対 して1% 減	2023年 度に対 して1% 減	2024年 度に対 して1% 減	①使用量の監視
4 化学物質の使用削減	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	①使用量の管理・保管管理の徹底
5 本業に 関する 目標	①不良廃棄品 前年比5%減				

*購入電力の排出係数は、0.441kg-CO2/kWh【東京電力エナジーパートナー（株）】を使用しています。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

デマンド監視装置の設定



木材パレットの返却リユース



工程梱包ビニールの廃止

ビニール袋→メッシュ袋（繰り返し使用）



7. - 1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標					環境経営計画	
項目	基準年 (22年度実績)	2023年度 目標	2023年度 実績値	目標の達 成状況	実施事項	評価
1 売り上げ 100万円 当り二酸 化炭素 排出量 の削減	2022年 (518.32 kg- CO2/10 0万円)	2022年 度に対 して1% 減 (513.14 kg- CO2/10 0万円)	2023年 度 (476.01 kg- CO2/10 0万円)	達成 8%減	①空調温度適正化・表示	○
					②不良数の集計と削減	○
					③エアコン清掃の実施	○
					④設備の点検・整備	○
					⑤社用車の点検・整備	○
					⑥電力、ガソリン量の集計	○
					⑦デマンド設定	○
					⑧目標達成状況・活動進捗状況確認	○
2 売り上げ 100万円 当り廃棄 物排出 量の削 減	2022年 (70.42kg /100万 円)	2022年 度に対 して1% 減 (69.72kg /100万 円)	2023年 度 (52.60kg /100万 円)	達成 25%減	①廃棄・分別ルール徹底	○
					②有価物の細分化徹底	○
					③廃棄物排出量の集計	○
					④産廃業者の許可証の確認	○
					⑤産廃排出量の届出	○
					⑥プレス加工品のビニール袋使用廃止	○
					⑦木パレットの返却再利用	○
					⑧目標達成状況・活動進捗状況確認	○
3 従業員1 人当た りの水 使用量 の削減	2022年 (11.8m ³ /1人)	2022年 度に対 して1% 減 (11.68m ³ /人)	2023年 度(9.7m ³ /人)	達成 18%減	①使用量の監視	○
4 化学物質 の使用削 減	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	達成	①使用量の管理・保管管理の徹底	○
5 本業に 関する 目標	①不良廃棄品 前年比5%減 実績40%減				○	

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった

※主な環境負荷実績

環境負荷	2022年	2023年 (環境活動レポート対象期間)
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	129,061	111,809
②廃棄物排出量 (kg)	17,535	12,355
③水資源投入量 (m ³)	296	214

6. - 2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標					環境経営計画	
項目	基準年 (実績)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	実施事項	
1	売り上げ100万円当り二酸化炭素排出量の削減	2023年 (476.01 kg-CO2/100万円)	2023年度に対して1%減 (471.24 Kg-CO2/100万円)	2024年度に対して1%減	2025年度に対して1%減	①空調温度適正化・表示 ②不良数の集計と削減 ③エアコン清掃の実施 ④設備の点検・整備 ⑤社用車の点検・整備 ⑥電力、ガソリン量の集計 ⑦デマンド設定 ⑧目標達成状況・活動進捗状況確認
2	売り上げ100万円当り廃棄物排出量の削減	2023年 (52.6kg/100万円)	2023年度に対して1%減 (52.37Kg/100万円)	2024年度に対して1%減	2025年度に対して1%減	①廃棄・分別ルールの徹底 ②有価物の細分化の徹底 ③廃棄物排出量の集計 ④産廃業者の許可証の確認 ⑤産廃排出量の届出 ⑥プレス加工品のビニール袋使用廃止 ⑦木パレットの返却再利用 ⑧目標達成状況・活動進捗状況確認
3	従業員1人当たりの水使用量の削減	2023年 (9.7m ³ /1人)	2023年度に対して1%減(9.6 m ³)	2024年度に対して1%減	2025年度に対して1%減	①使用量の監視
4	化学物質の使用削減	使用量の管理・保管管理の徹底	使用量の管理・保管管理の徹底	使用量の管理・保管管理の徹底	使用量の管理・保管管理の徹底	①使用量の管理・保管管理の徹底
5	本業に関する目標	①不良廃棄品 前年比5%減				

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

引続き、環境経営目標及び環境経営計画を徹底いたします。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
フロン排出抑制法	3カ月/1回簡易点検の実施	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法
消防法	指定数量以上の危険物の貯蔵、取扱いの制限 貯蔵・取扱危険物の品名等の変更届け	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

2024年5月31日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年度のエコアクション21への取り組みは、目標値に対し大幅な削減率を達成することができました。特に、電力使用量監視装置（デマンド）を設置することで、使用量の監視や警報発生を通じてこまめな空調の調整や照明・設備の消灯を行い、電力使用によるCO2削減が達成できました。

また、生産に使用する材料運搬用の木製パレットを産業廃棄物として廃棄していたものを、購入先へ返却することでリユース化を図る活動を実施しました。社内では、製品を一時保管するビニール袋をリユース可能なメッシュ袋に置き換えることで、大幅な廃棄物削減を実現しました。

一方で、一般廃棄物の増加が見られるため、新たな対策を検討し、来期に向けて更なる改善活動を行っていきます。

来期の取り組みとして、社員一人ひとりの意識を高め、細かな部分まで省エネを実践することが重要です。作業性を落とすような厳しい省エネではなく、楽しみながら取り組める内容も盛り込み、社員全員が積極的に参加できる環境を整えていきます。